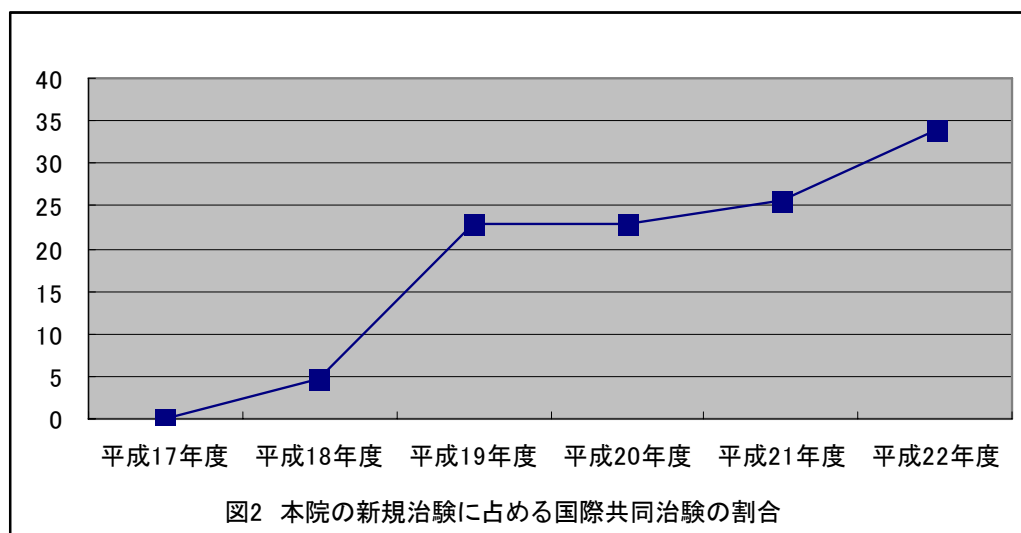




一方、医薬品開発がグローバル化するとともに、この数年、ドラッグラグ解消の切り札として国際共同治験が増加傾向にあります。本院でもそれを裏付けるように国際共同治験が年々増加し、昨年度、新規治験の受託の35%を占めるまでになりました。(図2)



今後、本邦においてもアンメット・メディカル・ニーズ 領域の治験が一段と増えるとともに開発体制の変化により、国際共同治験がますますその比重をましていくことが予想されます。本院でも開発ニーズを汲み取り、これらの治験をスピーディーに実施できる体制を整える事によりドラッグラグ解消の一助となるように努力していきたいと存じます。

## ●事務局からのお知らせ●

### ■IRB開催予定日■

7月19日(火) 15:00 より

### ■会議室状況■

7月中のご予約は、ほぼ一杯になっております。

翌月8月からのご予約も承っておりますので、SDV・アポイント等の

お申込みの際には、お早めにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

ホームページ : <http://www2.huhp.hokudai.ac.jp/%7Eetc-w/>

お問い合わせ・配信変更等 : 電話 011-706-7061